

平成 31 年度（第 5 期）

里山笑楽校活動計画書

1. 活動の目的

農村、上流域と下流域の交流によって経済と環境の両面において持続可能な地域モデルを創り上げる事を目的として活動する。具体的には次の 3 点

- ①下流域の都市住民に棚田保全活動に参加してもらう事で耕作放棄を減らし、地域に賑わい創りだす。
- ②農薬・化学肥料を使わない農業を実施する事で宍道湖・中海の環境保全を目指す。
- ③難しいことを考えない。「笑って・楽しく・学ぶ」

2. 活動の実施状況

1) 出雲國まこもプロジェクトを継続（持続可能な地域モデル）

本プロジェクトは「まこも」栽培と六次産業化を通じて以下の事を目指す。

- ①休耕田を活用して「人と自然が共生できる環境づくり」を目指す。
- ②「まこも」を通して「地域の賑わいを創る」を目指す。
- ③「まこも」によって経済的課題を解決

①人と自然が共生できる環境づくり

「冒険の森てんば」を中心に耕作放棄地 1 ha を「まこもの田んぼ」或いはビオトープに戻す。ビオトープにおいてはコウノトリなど斐伊川水系にて生息・繁殖・越冬が期待できる大型水鳥の飛来を目指す。そして、その環境を持続的に管理が出来る仕組みを創ることで他地域のモデルとなる。

②地域の賑わいづくり

次の活動を実施する。

- ①体験事業：まこもの田植え、まこもの収穫体験、まこものしめ縄体験
- ②イベント：出雲國まこもシンポジウム協働開催

③経済的課題解決

まこも関連の販路拡大活動を行う。

3. 広報活動

マスメディアを通じて広報活動を行う。